

合格体験記

2020年3月15日

松永 俊樹

【受験の動機】

受験の動機は、経営的視点を持つことで本業に好影響を与えたかったことです。

私の本業はシステムエンジニアで、仕事柄中小企業の業務改善をお手伝いする機会がよくありますが、その企業の状況を経営トップの視点で俯瞰できていないため、業務への理解が正確でなく、プロジェクトが非効率になることが多くありました。

この状況を変えたいため、辿り着いたのが中小企業診断士試験の学習でした。

【昨年までの学習】

私は、三回目の二次試験で合格しました。

平成 29 年 一次試験 ○ 二次試験 × 大手予備校

平成 30 年 一次試験 - 二次試験 × 大手予備校 + 勉強会

令和元年 一次試験 ○ 二次試験 ○ SLA

二年目は、大手予備校に通っていました。主な勉強法は、予備校での演習の予習・復習でした。

予備校内での勉強会にも積極的に参加していたこともあり、夏頃から成績も伸び始め【合格】の二文字が見えていましたが、満を持して受けた二次試験では6点及ばず不合格。

今思えば、今年の私は、小手先の試験テクニックを披露するばかりで、事例企業を診断し、社長に助言するという意識が全くありませんでした。おそらく、もう一年学び直しなさいというメッセージだったのだと思います。

【SLA を選んだ理由】

SLA を選んだ理由は、まず、過去問のみを題材として扱うアウトプット講義の内容です。

これまでの学習で私が到達したのは、【診断士試験は過去問分析が最重要である】ということでしたので、その考えが整合していました。

次に、倉前先生の二次試験に対する考え方に納得できたことです。

再現答案を持って SLA の相談会に参加したときに「診断士の二次試験は毎年同じことが聞かれている。難しいことは聞かれていない。」という一言が強烈で今でも忘れられません。

最後は、倉前先生の人柄です。

これは多くは語りません。

【講座内容について】

講座の特色は大きく分けて以下の3つだと考えます。

- ① 読み（聞く）・書き（伝える）・考えるという診断士試験に必要な能力に着目している点
- ② 個人別の課題がある点（私は経験ありませんでしたが、人によっては課題が多いとのこと）
- ③ 少人数制なため受講生とすぐに仲良くなれる点（先生の人柄に惹かれてくる方が多いので、わりと属性に近い人が集まっていると勝手に推測しています）

【受験後から合格発表まで】

試験日に再現答案を作り、倉前先生にお礼メールを送ったあとは、合格発表まで試験情報を閉ざしました。

スマホやPCを見る時間を減らすため、二次試験翌月に行われる簿記二級に申し込み、試験勉強をしていました。

合格発表当日は、「口述試験対策セミナーの募集締切前にどうやって予約するか？」をシミュレーションしていました。

【最後に】

合格要因は、SLA の授業を信じて、自分のできることをコツコツと積み重ねたことだったと思います。

診断士試験に合格することはゴールではなくスタートだと考えていて、大きなことは言えませんが、様々なことにチャレンジし、すべてを自分事として考えられる診断士になろうと考えています。

これは、SLA で倉前先生を拝見し決めたことでもあります。

一年間本当にありがとうございました。